

研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

乳がん検診の適切な情報提供に関する研究
（Breast awarenessの普及とその理解浸透に関する研究）

研究分担者 植松 孝悦 静岡がんセンター 乳腺画像診断科 部長

研究要旨

乳がん検診受診者のニーズを踏まえた乳房構成のよりよい通知の方法や乳がん検診そのものと高濃度乳房を正しく理解するためのツールを作成するために、検診受診者への情報提供ツール開発の前段階として、Breast awarenessの普及とその理解浸透めざす方策を研究する。

A．研究目的

Breast awarenessの普及とその理解浸透めざす方策を研究する。

B．研究方法

Breast awarenessと乳がん検診の限界の理解について、文献検索による世界の現状と動向を把握して日本の課題を整理する。
Breast awarenessの認知度の現状をアンケート形式で把握する。

（倫理面への配慮）

アンケートの実施においては、IRBの承認を得て、十分な倫理面に配慮して実施した。

C．研究結果

Breast awarenessに関する世界の現状と動向を把握できた。
アンケートの中間解析の結果、一般女性におけるBreast awarenessの認知度は13%であり、日本の現状としてBreast awarenessは認知されていないことが判明した。

D．考察

Breast awarenessに関する世界の現状と動向を把握するとともに、日本におけるBreast awarenessの認知度が非常に低い現状が把握できたので、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療につながる、女性にとっても重要な生活習慣であるBreast awarenessの普及とその理解浸透めざす方策が必要である日本の現状を確認できた。今後は、この情報を基にBreast awarenessを乳がん検診受診者や一般女性に効率良く情報提供できるツールを作成する。

E．結論

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療につながる、女性にとっても重要な生活習慣であるBreast awarenessの普及とその理解浸透が日本に必要である。その最善方策について、今後の研究で開発する。

F．健康危険情報

特になし

G．研究発表

1. 論文発表

Do you know how to get the J-START quality assurance guideline? (Uematsu T, Nakamura S, Ohuchi N. Breast Cancer. 2018 Jul;25(4):375-376.)

2. 学会発表

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

Breast Cancer in Younger Women: Screening and Diagnostic Imaging Examinations (The 104th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America will be held November 25-November 30, 2018 at McCormick Place in Chicago, Illinois)

Breast Density Issues and Impacts on Mammography Screening (The 104th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America will be held November 25-November 30, 2018 at McCormick Place in Chicago, Illinois)

乳がん検診の高濃度乳房（dense breast）問題について理解する（日本超音波医学会 第91回学術集会 パネルディスカッション 乳腺1 Dense breast に対する補助的乳房超音波検査 2018年6月8日（金）14：15 - 15：45）

Breast Density Issues and Impacts on Mammography Screening (第77回 日本医学放射線学会総会 シンポジウム 2018年4月13日（金）)

H．知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）

特になし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし